

海外特集



今回の海外ケーススタディーはカリブ海に浮かぶ米国領バージン諸島のエコロッジ。3つの島からなるバージン諸島でも最小のセント・トーマス島。エコツーリズムという言葉すら浸透していなかった1976年に開業。当時は環境に優しい施設に快適さを求める動きはなかったが、創設者スタンレー・セレンガット氏は自然と密接に触れあいながら価格を押さえた快適な宿泊施設を開業することに成功した。今では4つものリゾートをかかえるまでに成長し、「人間の快適性はもとより生物全てに快適に生活してほしい。」と語っている。

技術進化に伴い、今ではほとんど再生建材だけを使った施設で日光と風による発電で運営できるようになったエコロッジ。生態系を保護しながらも持続可能な発展を可能にしたリゾートとして人気が高い。



リゾート内にはアートセンターを設け、ガラス、紙、木材、アルミなどをアートにして販売している。また常駐するアーティストが教室を設け、ガラス吹き、紙作り、モザイク貼り、アルミ加工などを滞在中に体験できる。雇用を増やすだけでなく、収益金は地元へ還元されている。新しい試みだが、ガラスやアルミなどの回収がされていない地域での注目が高まっている。

MAHO BAY CAMPS 米国バージン諸島 マホ・ベイ・キャンパス

JELA OVERSEAS PARTNER ECOLOGE HTロジ協会海外提携HTロジ



【マホ・ベイ・キャンプス】

今では4つリゾートを抱えているが、その初代のテント。セント・ジョン島が国立公園に指定されて以来、18のテント式コテージを森の中に隠れるように設置。植生を破壊しないようにテントを結ぶ小道はデッキでつないだ。機械を入れずに手作りで作業を進めた結果、自然への影響を最小限に食い止めることができた。



【ハーモニー・スタジオ】

初代から進化したスタジオは2階建て、太陽光発電はタイマーやセンサーを使い効率をあげている。太陽電池の設置はもちろん、雨水利用、外気冷房など工夫がこらされている。キッチンには電子レンジや冷蔵庫など長期滞在に適した家具と配置されている。ゲストの消費電力負荷に耐えられるだけの発電・蓄電がなされている。



【エステート・コンコーディア・スタジオ】

9戸で構成される広々としたスタジオは島の南東部に位置し、小さなお店とプールだけのシンプルなりゾート。何からも離れているのでレンタカーを借りて移動する。シュノーケリングで人気のあるソルト・ポンド湾を望むこのユニットは3人用（エキストラベッド使用）または6人用。大きいユニットにはトイレも2箇所あり、快適なカリブ海バカンスを満喫できる。



【コンコーディア・エコ・テント】

こちらベースキャンプのマホ・ベイから離れているが、「ハイテク・テント・コテージ」と呼ばれているほど技術革新された最新の機器が導入されている。太陽熱利用の温水シャワー、太陽光と風力のハイブリッド発電、雨水利用と完全に独立した施設になっている。

【アクセス】セントジョンには空港はないので隣島のセント・トーマス島へ。タクシーまたはシャトルにてレッド・フック港からフェリーでクルーズ・ベイへ。詳細はウェブサイトにて確認してください。(http://www.maho.org/)

夏季料金表

2004年12月14日まで

マホ・ベイ・キャンパス

テント-コテージ

1泊US\$75

追加一人につき

1泊あたりUS\$12

ハーモニー・スタジオ

ベッドルーム・スタジオ

1泊US\$110-135

リビングルーム・スタジオ

1泊US\$130-145

追加一人につき

1泊あたりUS\$25

エステート・コンコーディア・スタジオ

オーシャン・ビュー・スタジオ

1泊US\$95

フル・オーシャン・ビュー・スタジオ

1泊US\$125

ロフト・デュプレックス (フル・オーシャン・ビュー)

1泊US\$150

追加一人につき

1泊あたりUS\$15

コンコーディア・エコ・テント

エコ・テント

1泊US\$85

追加一人につき

1泊あたりUS\$15

予約には保証金として宿泊料金の50%が必要です。また上記料金は米国バージン諸島税8%を含んでいません。キャンセルする場合はキャンセル料が課せられます。